



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター【小林市社会教育課(中央公民館)】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター【小林商工会議所(TENAMUビル)】 Tel.23-4121

新年度を迎え、大人も子どもも次のステージに進む季節。「こばやしスクールサポートボランティアセンター(KSSVC)」と「小林市キャリア教育支援センター」の広報紙「てなむ」(西諸弁で「一緒に」)をお届けします。

市内の小中学校では、学校と地域・事業所・各種団体などが一緒になって子どもたちの学びや成長を支えるさまざまな取組を行っています。それらは、参加した大人にとっての「学びや生きがい」にもなり、ひいては地域の活性化にもつながるものです。

2つのセンターでは、「てなむ」を通して児童生徒に関わる活動を紹介していきます。よろしくお願ひします。



2月・3月に、小学5年生と中学2年生を対象に、多くの学校で立志式が行われました。(学年は旧学年です)

三松中 立志式・記念講演



54名の2年生が座右の銘と共に、夢や目標を力強く発表しました。その後は、代表生徒による誓いの言葉。会場では、保護者と1年生が、一人ひとりの言葉に、熱心に耳を傾けていました。

記念講演は和田花織さん。横浜市出身で1年半前に宮崎に移住。(株)リクルートに勤務し、主にオンラインで仕事をしています。「主体的に生きることの大切さ」の演題で、宮崎に来た理由、今の仕事、中学と高校・大学時代のギャップ、中学生へ伝えたいことについてお話してくださいました。

西小林中 立志のつどい・記念講演



フリートーク「社会人に求められる能力とは」

選んだ漢字を手に、20名が「立志の誓い」を述べました。その後は、出席していた1年生とのフリートーク。「信頼」や「継続」、「コミュニケーション

能力」などの意見を出し合う姿を、保護者が近くで見守っていました。

講演は大角恭代さん(野尻町)。東京でのユニクロ勤務(店長など)を経てUターン。野菜ソムリエプロとして、食育や商品開発など、様々な活動をしています。「『好き』を大切に～自分らしき・個性を大切に生きよう」の演題で、これまでを振り返りながら中学生へメッセージを送ってくださいました。

栗須小 夢発表会



20名の夢と学習成果の発表会です。入学したばかりの頃と5年生の写真の紹介。「なりたい自分」と、これから努力することの発表。国語で学習した竹取物語や徒然草、漢詩など、8つの古典の朗読と群読。家族への感謝の言葉。器楽合奏「ルパン三世のテーマ」と、盛りだくさんの内容でした。

保護者や来賓の皆さんからは、発表が終わるたびに大きな拍手が送られていました。

小林小 卒業生に向けてのおはなし会



ペーパーサート「イギリスの紳士」

毎年行っている市立図書館と、読み聞かせグループ「くすの木文庫」の皆さんによるおはなし会。ブックトーク(本の紹介)に始まり、読み聞かせや大型パネルの紙芝居、ペーパーサート(紙人形劇)など、20名近くのスタッフが交替で演じてくださいました。教科書に

載った文章のタイトルを当てるクイズもあり、子どもたちは積極的に手を挙げて答えていました。

物語の一つひとつに聞き入ったり、大笑いしたり…。卒業前の最高のプレゼントになりました。

「くすの木文庫」は、学校での読み聞かせなど、これまでの活動が認められ、2月に県教育長表彰を受けました。

裏に続きます。

「協働の学校づくり」推進協議会

年2回開催



地域に根ざした特色ある教育活動についての会議です。9つの中学校区の代表と、中屋敷教育長をはじめ学校教育課と社会教育課の職員が出席しました。教育長のあいさつに続いて、各校区から地域の行事や学校の取組についての報告があり、その後、異なる校区とグループを作り、今後に向けての協議を行いました。



まとめの中で、宮崎大学の遠藤准教授(左)から、「社会の一員を育てる学校は、社会と一緒になければならないでしょう」とか「子どもが学校だけでなく社会の中で活躍できる場を設けてください」などの、助言をいただきました。

西小林小・幸ヶ丘小 薬物乱用防止教室



両校の5・6年生を対象に西小林小で実施しました。講師は松山文昭さん(学校薬剤師:小林こすもす薬局)、同じ薬剤師の弟さんが実験を担当しました。

内容は… 学校薬剤師の仕事・健康で丈夫な体をつくるには・くすりのルール・タバコとお酒・薬物を断る方法 などです。健康についてのクイズや薬をお茶で飲んではいけない理由が分かる実験もあり、とても丁寧に教えていただきました。

永久津小と永久津保育園の交流活動



入学を控えた4人の園児が小学校を訪問。1年生7人と交流を深めました。

互いに名前と好きなものを言って、お楽しみ会が始まりました。最初は学校紹介ク

イズ。「たしごんをならうのはさんすう、こくごのどっち？」など、1年生が交代で出す問題に、園児たちは元気よく手を挙げていました。

その後はペアになってのミニ探検。1年生が説明しながら、児童玄関や保健室を見て回り、最後はじゃんけんゲームで盛り上がりました。

【園児の感想】すごくいっぱいつけてくれていて、たのしかったです。

【1年生の感想】ばらぐみさんといっしょに、またたのしくあそびたいです。



こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



石川琢磨さん: (株)アディッシュプラス代表取締役。宮崎frogs代表理事

10年以上前に沖縄県で始まった人材育成プログラムの宮崎版「宮崎frogs」を4月に立ち上げる予定。さまざまな個人と企業の支援で、6か月間で、研修・事業計画(やりたいこと)の作成・プレゼンテーションを行います。

講演のテーマは「キャリア教育×人材育成」。学生時代や現在の仕事のこと、人材育成プログラムについてお話していただきました。その後、参加者はフリートークで交流を深めました。

【主な内容】 ◆ キャリア教育とは ◆ 未来を生き抜く非認知能力を育てる ◆ これから求められる人材育成 ◆ 大人ができること ◆ 地域の継続的な発展のために ◆ アントレプレナーシップ(企業家精神:創造力・想像力行動力など)をもった若手人材の育成など

沖縄県での人材育成プログラムに参加した高校生や大学生たちが、その後、さまざまな分野で活躍している様子も紹介され、大変興味深いものでした。また、「地域で人材を育成しても、自分の可能性にかけて都会に出る人は多い。『地域を見限って出る』よりも『地域に感謝して出る』人材を育てたい」という言葉が心に残りました。

石川さんの話を聞いて「プログラムに参加します」と宣言した高校1年の男子生徒もいて、大きな拍手を浴びていました。

キャリア教育トークセッションは、月に1度、TENAMUビル2階の交流スペースで開催。午後7:00~8:30

【交通安全教室で聞きました】学校や勤務先が変わる人が多い季節。当然、通学・通勤の経路も変わります。慣れない道を通ることによる交通事故が心配です。歩行者も車も、一旦停止や左右の確認を確実にお願いします。



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

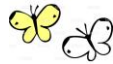
てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

古来の日本では、各月を季節感がわかるような和風月名で表現しており、その5番目の月を「皐月(さつき)」としていました。これは旧暦ですので、今の暦では5月下旬から7月上旬頃になります。ちょうど田植えの時期にあたるので、早苗を植える月を意味する「早苗月(さなえつき)」が転じたという説もあります。

市内の小中学校では、多くの学校がJAや営農組合、地域の方々の協力を得て、農業体験をしています。さつまいもや米づくりが主で、そばを育てる学校もあります。もうすぐ芋の苗植えや田植えが始まります。子どもたちの賑やかな声が地域で聞かれることでしょう。



～昨年度の活動より～ (旧学年)

紙屋小 地域に花を植える活動

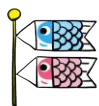
5年生



学校から紙屋大橋を渡り、坂の上の花壇までゴミ拾いをしながら移動。紙屋一徳まちづくり協議会の皆さんと一緒に、金魚草とノースポール、ナデシコの苗を植えました。毎年続けている活動

で、住民の皆さんにも喜ばれています。7月には紙屋中生が植栽を行う予定です。

活動の終わりに、協議会の木下会長から、美化活動へのお礼と、「ゴミ拾いをしなくていいような地域にしていきたい」との呼びかけがありました。



東方中 地域の高齢者に花を贈る活動



以前は、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、直接お渡ししていましたが、コロナ禍の影響で、



ここ数年は、区長さんや民生委員の皆さんなど、地域のボランティアの方々をお願いしています。高齢者の皆さんを元気にしたいという思いを込めて、80数軒のお宅に、手紙を添えてパンジーを届けました。

【原田校長先生】生徒たちの活動が、地域と学校の橋渡しになればと考えています。

【生徒代表】心を込めて育てました。よろしく願います。

【ボランティア】皆さんの優しさを必ず伝えます。

(生徒の手紙より) 私たち東方中生は花いっぱい活動で花を育てています。高齢者の皆さんに、ぜひ花を楽しんでもらいたいと思います。春ですが朝から寒いですね。体調は大丈夫でしょうか。ちなみに、この花の花言葉は「もの思い」や「誠実」です。これからも、お元気に過ごしてください。



野尻小 ボランティア感謝集会



3月に、ボランティアの代表4人の方をお迎えして、感謝の気持ちを伝えました。児童代表のお礼の言葉、感謝状と児童が育てた花のプレゼントの後、お一人ずつ挨拶をしていただきました。

【棒踊り保存会】6月から練習が始まります。また一緒にがんばりましょう。【読み聞かせ・学習支援】今年も素敵な本をみなさんに届けたいと思います。

【学習支援】みなさんの元気な姿に触れて、私も元気をもらっています。【見守り・児童クラブ】「おはようございます」「がんばってください」の挨拶が、とてもうれしいです。

コロナ禍以降は代表の方だけが出席。今月にはボランティア集会(対面式)を行う予定です。

令和5年度、市内の小中学校で活動したボランティアと外部指導者は、延べ26,319名。内訳は、学習支援活動4,427名、部活動指導1,047名、環境整備1,852名、登下校安全指導17,900名、学校行事1,093名でした。(R5年4月～R6年3月)

裏に続きます。

三松小 6年生へのおはなし会



- 【プログラム】◆ 読み聞かせ「たいせつなこと」
◆ ペーパーサート「しりとりが大好きな王様」
◆ 劇「現代版 三枚のお札」 ◆ 教科書クイズ
◆ 偉人クイズ ◆ プレゼント

保護者の読み聞かせサークル「わたぐも絵本の会」による「卒業おめでとう！小学校最後のおはなし会」です。いろいろなプログラムを10数名の保護者が交替で演じ、やまんばや校長先生が登場する「三枚のお札」では大きな笑いが起き、クイズではたくさんの方が挙げて盛り上がりました。

「わたぐも絵本の会」は、朝の読み聞かせに加え、全校児童が対象のクリスマスおはなし会と6年生へのおはなし会を毎年行っています。

【感想とお礼の言葉より】◆ 楽しいお話をありがとうございました。これからは絵本などをたくさん読みたいと思います。◆ おもしろい絵本や劇をありがとうございました。◆ 私は「しりとりが大好きな王様」と「三枚のお札」の話が好きでした。プレゼントもありがとうございました。

◆ 6年間、本だけでなくクイズなど、いろいろな工夫もあって楽しかったです。



西小林中「性暴力被害者支援」講演会



日高親弘さん：警察官を定年退職後、みやざき被害者支援センターに勤務。小林警察署での勤務経験もあり、「懐かしいです」と話されていました。

主な内容は「さぼーとねっと宮崎」の説明・性暴力(デジタル性暴力)とは・性暴力の事例と加害者の手口・位置情報共有アプリの危険性・「さぼーとねっと宮崎」の具体的な支援などです。

「性暴力は遠い世界の話ではありません。SNSで他人になりすまし、徐々に親しくなって…という事件もありました」など、経験を基に、いくつかの事例を紹介してくださいました。また、毅然と断る勇気をもつことや、一人で悩まずに

相談することの大切さなどのアドバイスもあり、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。



【さぼーとねっと宮崎】性暴力被害に遭われた方やその家族の方が、安心して相談でき、必要な支援を受けることができるよう、宮崎県が開設した相談窓口です。

こんにちは！ 小林市キャリア教育支援センターです



キャリア教育トークセッション 第13弾



大工原忠相さん：NEC勤務。2022年から1年間、「大人の地域みらい留学」で西諸に滞在。飯野高校で地域の課題解決のプログラムに携わりました。西諸の温泉が大好きな東京人です。

「VUCA(ブーカ)」と「シンギュラリティ」の話題から始まりました。VUCAは、将来の予測が困難なため、既存の価値観やビジネスモデルだけでは対応できないこと。シンギュラリティ(技術的特異点)は、技術進化が進んだ先に待っている、これまでの社会とは常識が一変する転換点。2045年頃と予想されています。

最初に、量子通信技術やスマートシティ技術など、今後10年から20年の間に出現する未来技術約20件についての説明があり、続けて、シンギュラリティの時代に向けて我々大人が捨てるべき矜持(きょうじ：誇り・プライド)は？というテーマでお話をしてくださいました。

グループトークでは「シンギュラリティの時代に向けた人材教育」と「そういう時代の個人や地域の課題」について考えました。どんな時代になるのかを想像するのは難しく、意見をまとめるのにテーマではありましたが、未来社会に対する参加者の意識は高まったと思います。

まとめで、大工原さんは、人材育成について、ご自身が考える3つのポイントを示されました。

- ◇ 保護者は自己の再生産をやめる。(自分の経験だけで子どもを育てることをやめる)
- ◇ 学校は地域の教育機関としての役割、教育者としての誇りを確認する。(時代が変わっても学校がなくなることはない)
- ◇ 自分の地域の未来を、大人が真剣に考える。

最後に、「未来社会に向けて大人が矜持を捨て、何かを一つずつ変えていく姿や、新しいことにチャレンジする姿を子どもたちに見せることが大切ではないでしょうか」と、締めくくりました。

★「てなむ」は、「KSSVC」で検索すると、市のホームページでご覧になれます。





地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

黄色いランドセルカバーの1年生を気遣ってゆっくり歩く上級生、会話を交わしながら一緒に登校してくる保護者、旗を手に交差点で子どもたちの安全を見守る地域の皆さん、校門で児童生徒を迎え挨拶を交わす先生方…。見慣れた朝の風景に人の優しさや思いやりを感じます。何気ない行動が、周りを温かい気持ちにしてくれることが、他にもたくさんあることでしょう。

幸ヶ丘小 1年生を迎える会



今年の1年生は1人です(集合写真前列中央)。小学校に早く馴染んでもらえるよう、上級生が進行し、先生方も加

わって歓迎会が行われました。

メッセージの書かれたメダルのプレゼントや「じゃんけん列車」のゲームで楽しく過ごし、最後に笑顔で記念写真を撮りました。

交通安全教室

運動場の状態が悪い時は屋内で実施しました。

年度初めに小中学校で行われる「命を守る学習」です。小学校の低学年は横断歩道の正しい渡り方、高学年と中学生は自転車の正しい乗り方が主な内容です。大人も再確認してほしいことを含めて、7つの学校の様子を紹介します。



西小林小

【1・2年生】横断歩道の正しい渡り方
【3～6年生(2学年ずつ実施)】DVD(自転車の加害事故)、自転車点検の方法、正しい乗り方、集団登校での横断旗の使い方

【お礼の言葉】◆ 車をちゃんと見てわたることが大切だとわかりました。(2年生) ◆ 教えてもらったことをずっと守ります。(2年生) ◆ ヘルメットが大事だということがよくわかりました。教えてもらったことを続けていきたいです。(4年生)



栗須小

【1・2年生】横断歩道の正しい渡り方
【3～6年生(2学年ずつ実施)】自転車での横断歩道の渡り方、危険運転の実演(傘さし運転・二人乗りなど)、ブレーキと制動距離

【お礼の言葉】◆ これからも右左を確認して横断歩道を渡ります。(2年生) ◆ ブレーキのことが心に残りました。学校の周りは車が多いので、習ったことを守って気を付けたいです。(4年生)



野尻小

「車は急に止まれない」実験

【1～3年生】横断歩道の正しい渡り方
【4～6年生】自転車点検の方法・見通しの悪い交差点の通行・制動距離の実験(全学年)

【お礼の言葉】◆ 合言葉の「ブタハシャベル」を思い出して自転車点検をします。

「ブレーキ」「タイヤ」「ハンドル」「シャ」タイヤ(車体:高さ・ライト・反射材など)「ベル」



細野中

【内容】DVD(自転車の加害事故と主な原因)、自転車の交通ルールの確認、自転車点検の方法、見通しの悪い交差点の通行



ながら運転やスピードの出しすぎ、一時停止違反などの事例が動画で紹介されました。

小林中と三松中は、細野中とほぼ同じ内容です。



【お礼の言葉】 自転車が被害者にも加害者にもなることがよくわかりました。青であってもしっかり確認して、小林中全体で交通安全に気をつけていきます。



【お礼の言葉】 危険運転やながら運転はしません。ヘルメットをかぶり、点検をして乗りたいと思います。

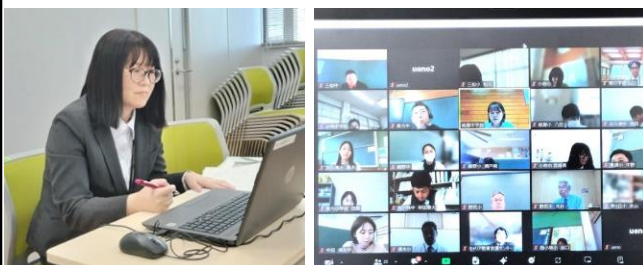


【主な内容】 ジャイロ効果(車輪を回転させて傾けると、元に戻そうとする力が働きます)、自転車の交通ルール、ヘルメットと事故の話、直進とカーブを曲がるコツ、安定する姿勢、急ブレーキのかけ方 など

指導してくださったのは…

- (栗須小) 梅田学園ドライビングスクール
- (東方中) 押領司先生：美術講師・県自転車競技連盟理事長
- (その他の学校) 小林警察署・交通安全協会

第1回 小林市キャリア教育担当者会



市内の小中学校 21 校と市教育委員会、キャリア教育支援センター、こばやしスクールサポートボランティアセンターが出席したオンライン会議です。進行は瀬川先生(市教委)。

キャリア教育に関する市の方針説明と2つのセンターの役割と活用方法の説明の後、9つの中学校区に分かれて協議を行いました。

説明と協議よりポイントをまとめてみました。

- ◆ なぜ、今、キャリア教育が必要なのでしょう？
- ① 人口減少・少子高齢化
国内の生産を中心となって支える生産年齢人口(15～65歳)の減少
- ② グローバル化
2067年には人口の約1割が外国人に。
- ③ 他業種間連携
自動車メーカーとIT や電気業界など。
- ④ 変化が激しい時代・人生 100 年時代
終身雇用からマルチステージの時代。人生のその時期にあった転職が進む時代へ。
- ◆ これからの時代を生きる子どもたちに求められる力は？
主体性(考える力、伝え合う力、つなげる力)
- ◆ そのためにも…
こすもす科や総合的な学習の時間の充実
キャリア教育の視点を生かした授業の充実
(社会的・職業的自立のための基盤となる能力や態度を念頭に置きながら、子どもたちの成長や発達を促進しようとする見方)
- ◆ 具体的には…
課題意識をもたせる、対話的な学びの充実、外部講師の活用など
- ◆ 協議で聞かれた意見(キーワード)より
○ 大人とのコミュニケーションに慣れる ○ 働くことのイメージや喜びが感じられる活動 ○ 継続できる無理のない活動 ○ 小中連携と情報の共有
○ コロナで減少した体験活動の復活 ○ 地域の魅力や住民の思いを知る ○ 子どもたちが「自分で調べてみたい、考えてみたい」と思うような働きかけ
- 平成19年(2007年)に生まれた子どもが100歳まで生きる確率は50%というデータがあります。(カリフォルニア大学とドイツのマックス・プランク研究所)
当然、働く期間が長くなり、仕事についての考え方も変わっていくことでしょう。予測困難な未来に備えた取組が、今、求められています。

ボランティアを募集しています

特技や経験を活かしたい、子どもたちと一緒に活動したい、学校や地域の役に立ちたいと考えておられる方をお待ちしています。例えば…

- ★ 登下校の見守り
- ★ 読み聞かせ
- ★ 備品の修理
- ★ 裁縫や調理実習
- ★ 伝統芸能・工芸
- ★ 農業や栽培
- ★ 子どもたちとの交流・遊び
- ★ 植栽・草刈りなどの環境整備
- ★ 校外学習・遠足の引率補助
- ★ まる付けや印刷
- ★ さまざまな体験のお話
- ★ 部活動・クラブ活動 など



☆ お問い合わせは… こばやしスクールサポートボランティアセンター(小林市社会教育課 TEL22-7912)



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

上のマークにある「自立」「感謝」「貢献」の3つの言葉は、小林市教育委員会のスローガン「0歳から100歳までの小林教育」のキーワードです。「自立」できたら、支えてくれた人たちに「感謝」して、自分ができることで社会に「貢献」。そして、このサイクルを繰り返すことで、みんなの笑顔があふれる小林市にしていきたいという願いが込められています。

一つの例が集団登校。今、班長として下級生のお世話をしている上級生も、かつては面倒をみてもらっていました。今は後ろの方を歩いている1年生も、数年後にはリードする立場になります。「おかげさまで…」の感謝の気持ちが周りへの支援に繋がるといいですね。

細野小 あいさつ運動

6年生



月に1度、細野中生と一緒にしています。この日は中学校の行事の為、6年生だけで実施。のぼり旗を手に、登校してくる児童と、通る車一台一台に頭を下げ、大きな声で挨拶をしていました。

「あいさつ運動」は多くの学校で行われており、保護者が参加している学校もあります。

生きがい学級合同開級式



市内8つの学級が集い、宮原市長、堀之内友愛クラブ連合会長をお迎えして文化会館大ホールで行われました。開級式(学級長認定証授与など)の後は演芸大会。

歌や踊り、楽器演奏などが披露され、会場が一つになって盛り上がりました。最後はスタッフも参加した総踊り。須木音頭・野尻音頭・小林音頭を元気よく踊って幕を閉じました。

学級生の中には、地域や学校の活動に参加されている方がたくさんいらっしゃいました。

南小 体育の出前授業

5・6年生



後転のポイントは手のつき方です。

写真は5年生



この日は小林中の振替休日です。新体操部の3年生1人と2年生4人、顧問の長崎先生が南小を訪問。5・6年生にマット運動を指導しました。

この授業は南校区まちづくり協議会、吉村さんの協力で実現したもの。小学生は5つのグループに分かれ、中学生に支えてもらいながら、前転・後転・

開脚前転に挑戦しました。繰り返し練習して、上手にできるようになると全員が笑顔に…。中学生も教えることを通して多くのことを学びました。部員による後方宙返りなどの模範演技もあり、思い出に残る授業になりました。

西小林中 手話の学習

3年生



徳永さん

もっと手話を習って、耳の聞こえない人と手話で話してみたいと思いました。(通訳は真方さん)



小林市では、平成29年に手話言語条例が制定され、小学校3年生・5年生・中学校3年生が手話を学んでいます。

この日の講師は徳永さんと真方さん(小林市手話通訳者派遣協会)。聞こえない人の生活や伝える方法についてのお話と補聴器の体験の後、あいさつなどの簡単な手話と指文字を練習して、一人ずつ手話で自己紹介をしました。

子どもたちの手話の学習が、手話言語条例の理念である「手話が言語であることを認識し、手話への理解の促進及び手話の普及を図り、手話でコミュニケーションを図りやすい環境を構築するものとする」という一文に繋がることを願っています。

裏に続きます

東方小 読み聞かせ



思わず身を乗り出す4年生



大谷選手の手形に合わせる6年生

「よんみろ会」の皆さんが、月に1度、年齢に応じた絵本を選び、全学年で読んでくださいます。子どもたちは読み聞かせがある日をとっても楽しみにしており、目を輝かせて聞き入っている姿が、どの学級でも見られました。

読み聞かせには、子どもの心が安定する、想像力が育まれる、言語能力が高まる、感情が豊かになる、集中力が上がるなどの効果があると言われています。

小林市ではすべての小中学校でボランティアによる読み聞かせが行われており、子どもたちの健やかな成長に寄与しています。

さつまいもの苗植え

紙屋小 1・2年生



マルチ張り



1年生6名、2年生7名が校内の「わくわく農園」に紅はるかと黄金千貫の苗を植えました。協力はJA青年部・甘藷農家・保護者の皆さん。

紙屋小の苗植えでは、毎年、2年生が始めの会と終わりの会の進行をします。

【始めの会】お話をきちんと聞いてしっかり植えましょう。

【終わりの会での感想】教えてもらって上手にできました。どのくらい大きくなるか楽しみです。

東方中 2年生



説明は本田先生(技術科)



いも植えの大切さを知り、父たちの手伝いをしたいと思いました。

技術科「栽培」の授業です。東方研修館の向かいにある畑を地域の方に提供していただき、今年度初めてさつまいも(紅はるか)の苗を植えました。地主さんと区長さんも加わり、和やかな雰囲気の中、竹で穴をあけたマルチに手際よく苗を挿していき、30分ほどで終わりました。秋の収穫が楽しみです。

西小林小 畦づくり

5年生



よろしくお願いします



5年生31名が田植えを前に「畦づくり」を体験。水漏れを防ぐ田んぼの仕組や米作りの仕事を知るのが目的です。JA青年部とPTA環境整備部の皆さんに教えてもらいながら、スコップを使い、時には足で踏み固めて、1時間ほどで形を整えました。ちなみに、現在ではトラクターの後部に付けた機械を使います。(写真右下)

【始めの会でのあいさつ】田おこしや草刈りをしていただいたと、先生から聞きました。畦づくりは初めてなので、教えていただきながら頑張ります。

【お礼の言葉】米作りには細かな作業がたくさんあることが分かりました。田植えもよろしくお願いします。





地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121

夏休みに入り、子どもたちが、家族や先生、友人以外と触れ合う機会も多いことでしょう。学校以外での経験は子どもの社会性(人が社会集団の一人として生きる能力)に大きな影響を与えていると言われています。この夏、祭りやいろいろなイベントが計画されています。多くの体験を通して、小林の子どもたちがさらに大きく成長することを願っています。

「学びの1週間」の案内を市内の児童生徒に配布しています。その中に「高校生寺子屋テナム」があります。これは、小林の高校生が小中学生の学びをサポートする企画。一緒に宿題をしたり、話をしたり…。きっと、勉強以外にも学べることがあることでしょう。

- ◆ 8月7日(水)~8月9日(金) 13:30~15:30
- ◆ TENAMU 交流スペース(TENAMUビル2階)

三松小・中 交流学習

小学1年生
中学3年生



中学生が、いろいろな道具を持って小学校を訪問。なぞなぞや読み聞かせ、折り紙などの屋内での活動と、だるまさんが転んだなどの外遊びを交替で行いました。2時間近くの間、歓声が絶えず、全員が笑顔で楽しんでいました。昭和30・40年代は、異年齢の子どもたちが一緒に遊ぶ風景がいたるところで見られたものです。そういう機会が少なくなった今、両校の子どもたちにとって貴重な時間になりました。

須木小 浄水場見学

3・4年生



説明は奥平さん・八重尾さん(上下水道課)

近くの井戸から水を汲み上げ、配水池を經由して須木の中心部に水を供給する施設です。小林市の水道、水をきれいにする仕組、職員の仕事などについてお話していただきました。子どもたちは熱心に説明を聞き、たくさん質問をして、その後、10分ほど歩いて、山の上の配水池に行きました。



【お礼の言葉】◆いろいろなことを教えていただき、ありがとうございました。◆予想と違っていただけもあったけど、たくさん知ることができて良かったです。

小林小 二原遺跡の見学

6年生



発掘調査した16基のうち2基が保存され、公園として整備されています。3クラスが交替で訪れ、小林ガイドボランティア協会の皆さんに案内していただきました。古墳時代の埋葬の話と鉄の剣や矢じり、熱帯産のイモガイの腕輪の写真に子どもたちは興味津々。熱心にメモを取り、約1,500年前の小林に暮らしていた人々の生活に思いを馳せていました。二原遺跡は、毎月第3日曜日(午前9:30~11:30)に公開されています。

永久津小 九州ゲンゼ工場見学

3年生



3年生6名の社会科見学です。説明は総務課の富永さん。工場の成立ちやストックングの作り方を学んだ後、製造工程に沿って工場内を見て回りました。子どもたちは、編んだり縫い合わせたり包装したりするさまざまな機械に、「すごい!」や「速い!」を連発。驚いたり感心したりしながら、説明を聞いていました。

【見学後の質問の時間より】◆ゲンゼでストックングを作っているのは小林の工場だけ。1日12万足作っています。◆働いているのは約300人。ベトナムやインドネシアの技能実習生もいます。◆機械の数は660台。その内、編立の機械が500台。柄が編める機械は毎年更新しています。◆染色にはたくさんのきれいな水が必要です。それで、水がきれいな小林に工場を作りました。

細野中 西諸みんなで人権について考える授業



人権擁護委員の皆さん6名が来校。メンバーの一人、椎原さん(写真右端)のお話を通して「自分らしさ」について考えました。

【主要内容】人権擁護委員の仕事・人権とは・自分らしさの「自分」とは・職業による「男女」のイメージ・無意識の先入観・自分らしさを守るために

お話の最後には、いろいろな品物を「男性用」と「女性用」のイメージで分けるワークショップもあり、子どもたちは、無意識に抱いている先入観についても考えました。

【椎原さんのお話より】自分と違うことを、「攻撃」や「排除」の理由にしないことが大切です。自分らしさを守るために、一度、今の環境から身を引いてもいいですね。それは逃げることではありません。

紙屋中 薬物乱用防止・情報モラル教室



講師は小林警察署刑事課・生活安全課の皆さん

全校生徒を対象に1時間で2つの教室を実施しました。主要内容は…

【前半】◆DVD視聴(薬物の恐怖)
◆薬物の種類 ◆検挙状況
◆身体への影響 ◆社会に与える影響

【後半】◆情報モラルとは ◆サイバー犯罪の現状
◆フィッシング詐欺被害について ◆SNSやネットとの付き合い方 ◆危険から身を守るために

「薬物もサイバー犯罪も遠い世界の話ではない」ことを、たくさんの画像やデータを用いてお話していただきました。子どもたちは、具体的な事例を交えた説明を聞きながら、終始真剣な表情で聞き入っていました。

南小 小林秀峰高校農業科の講話



農業科の3年生(園芸専攻草花研究班)5名が「四季の花壇づくり」をテーマに、花づくりの苦労や喜びを分かりやすく話してくれました。

【質問の答より】◆機械や電気など6つの学科があります。生徒数は600名◆親が農業をしていて、その姿にあこがれて農業科を選びました。◆(良いところ)それぞれ違った教科を学べる。部活が盛ん。仲が良い。◆17種類以上の花を育てています。◆小さな種を手作業でまくのが大変です。◆(農業科の)1年生は、畜産・園芸・食品。2年ではその内1つを専攻。3年ではさらに細かく分かれた分野を学びます。

栗須小 みどりの少年団結団式

4年生



最初に農業振興課の北方さんと真方さんから、森林の役割・木材の長所・宮崎県の林業についてお話を聞きました。その後は目標の発表。子どもたちは、多くの保護者が見守る中、「募金活動がんばる」「恥ずかしくらずに大きな声で呼びかける」「学校に花を増やしたい」「緑豊かな小林市にしたい」など、元気よく決意を述べました。

栗須小では、毎年、4年生が団員となり、花壇の手入れや森林体験、募金活動などを行っています。

野尻小 ボランティア集会



写真右から、棒踊り保存会・見守り隊・学習支援・読み聞かせの代表の方々です。お一人ずつ挨拶をしていただいた後、児童の代表が感謝の気持ちを伝えました。

【棒踊り】野尻小で棒踊りを始めて27年目です。伝統の継承をよろしくお願いします。

【見守り隊】元気なあいさつで私も元気になります。棒踊りの三味線も指導します。やってみたい人は声をかけてください。

【学習支援】宿題の丸つけで、皆さんの字がとてもきれいでびっくりしました。私も一緒に勉強させてもらっています。

【読み聞かせ】「たんぼぼ」のメンバー14人で活動しています。大好きな絵本を皆さんと楽しみたいと思います。

【児童代表】いつも私たちのためにありがとうございます。棒踊りを一生懸命頑張りますので、ご指導をよろしくお願いいたします。



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

回覧

- ◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター 【小林市社会教育課】 Tel.22-7912
- ◆ 小林市キャリア教育支援センター 【小林商工会議所】 Tel.23-4121



市立図書館

7月、いくつかの事業所で中学2年生の職場体験の様子を見学させていただきました。子どもたちは、小学校での職場見学や高校でのインターンシップを含め、仕事に関するさまざまな学習をします。

それらは、単に体験することが目的ではありません。勤労観や職業観の育成、自己の個性や適性の把握と自己理解、コミュニケーション能力や社会的スキルの育成、学校での学習と社会の繋がりを学ぶなどの意義があります。

職場の方に教えてもらいながら熱心に働く中学生の姿を見て、学校だけでは学べないことがたくさんあると改めて思いました。

南小 海上安全教室(着衣水泳) 6年生



宮崎海上保安部(日南市油津)の6名の職員から「浮く」技術を学びました。

全員でプールを回って流れを作り、急に反対向きになると体が激しく押し流され、子どもたちは流れの強さにびっくりしていました。

浮く練習では、何も持たずに浮いた後、ボールやペットボトル、空気の入ったビニール袋などを使ってみました。ライフジャケットの使い方や、溺れている人へはロープや浮力のあるものを投げるなど、対処法の説明もあり、子どもたちは楽しみながら命を守る方法を学んでいました。

須木中 浜ノ瀬ダム見学 1年生



説明は宇都さん(西諸土地改良区)



学校から北西に車で25分ほどの所にある灌漑目的のダムです。管理事務所でダムの種類と役割(防災や水利、発電など)について学んだ後、ダム内部の階段を57m下りて最下部へ。気温14度のひんやりした空気の中で、ダムの管理や点検についての話を聞きました。地震計も設置し

てあり、震度4以上の地震が起きると、深夜でも駆けつけ、安全確認をするという話に、生徒たちはびっくりしていました。

この後、下流の発電施設も見学しました。

小林小 租税教室

十数組に分かれ、大人が説明役です。



6年生



宮崎法人会青年部考案のゲーム。全国大会で優秀賞を獲得

小林税務署と小林法人会青年部・女性部の皆さんによる授業です。前半は税のない社会を描いたDVDを視聴し、クイズに答えながら税金の種類と役割について学びました。

後半は「まちづくりワークショップ」。チームごとにテーマを決め、地図上に建物のシールを貼って理想の街を作ります。600億ZENの予算で、税金の有効な使い方を考え、施設を整備しました。

授業の終わりには、「みんなが楽しく暮らしやすい街」「にぎやかな町」「観光地になる町」「高齢者や子どもに優しい町」など、子どもたちの願いが込められた街がたくさん出来上がりました。

紙屋小 城攻め踊りの練習 4~6年生



指導は紙屋城攻め踊り保存会(手塚会長)のメンバー5名。「30年前に私も教わりました」という方もいて、伝統の重さを感じました。初参加の4年生は太鼓の付け方とバチの持ち方から始め、徐々に、手の動きや足の運びを学びました。

「時間をたくさんいただいたので今日で仕上げます」と手塚さん。運動会での披露に向けて、子どもたちは熱心に取り組んでいました。

西諸にはさまざまな郷土芸能が伝わっていますが、後継者の育成が難しいという声をよく聞きます。子どもたちのはつらつとした動きを目で追いながら、伝統を伝えていく学校の役割について考えていました。

三松小 史跡めぐり

6年生



案内はガイドボランティア協会の皆さん

関ヶ原の戦いの供養碑や飯田家五輪塔、開拓記念碑のある田中の鼻など、校区内の5か所の史跡を見て回りました。

関ヶ原の戦いで西軍について佐土原藩はとりつぶしになり、一部の藩士と家族が堤地区に移住しました。農民になっても武士としての誇りを忘れなかった人々の生き方が、後の「三松魂」に繋がっていると言われてます。

見学の後は、教室で、ガイドボランティアの皆さんが作った解説動画を視聴し、さらに詳しく学びました。

須木小 灯ろうづくり



須木小には年に数回、「みんなで〇〇をする日」があり、児童が交替で企画・運営をします。今回は3・4年生が担当して、須木の納涼花火大会で展示する灯ろうを作りました。

1～6年生が4つのグループに分かれて作業開始。教室には題材選びに困らないよう3・4年生が準備した「絵を描くヒント」が掲示され、子どもたちは、それらを参考に須木の特色や夏に関する絵を思い思いに描いていました。

最後は、全員が集まって発表会。3・4年生が進行し、絵を披露し、感想を述べました。

この後、灯ろうの型に貼り付け、個性溢れる作品が出来上がりました。(花火大会は地震の影響を受けて中止になりました。)

西小林中「小林未来予想図」スタートアップ会議

3年生



3年生は4つのチームで探究活動を行っています。今回、市役所の9つの課から12名の職員を迎え、進捗状況と今後の進め方について発表しました。



その後は意見交換会。小林市の課題と解決策についてグループで話し合いました。職員からは施策の説明や質問への回答もあり、生徒たちは今後の活動に役立つアイデアをたくさんもらいました。今後、最終の発表会に向けて、さらに探究活動を続けます。

【4つの探求チーム】◆ 健幸のまちづくり推進 ◆ 市PR・観光・経済の活性化推進 ◆ 農畜産業活性化の推進 ◆ 子育て支援・教育・福祉の推進

【出席】企画政策課・地方創生課・商工観光課・農業振興課・畜産課・福祉課・こども課・学校教育課・長寿介護課の皆さん

こすもす科のふるさと学習では、学年が上がるとつれて、調べたことの発表から課題解決の提言に向かう流れになっています。その次の段階はアイデアを実現する取組でしょうか？

修学旅行での宣伝活動や地域の行事への参画など、子どもたちが地域に貢献する取組が多くての学校で見られます。

教育フォーラム

大工原忠相さん：日本電気株式会社文教科学ソリューション統括部

市内の小中学校の教職員280名が出席して文化会館で行われました。(主催：小林市教育委員会)

前半は大工原さんの講演。演題は「子どもたちに必要なVUCA(ブーカ)時代のキャリア教育とは」。VUCAとは将来の予測



が困難なため、自己の経験(既存の価値観やビジネスモデル)だけでは対応できないこと。量子通信技術など、10～20年後には実現するさまざまな未来技術を紹介した後で、そういう時代を乗り切る能力や教育内容、大人の在り方についてお話してくださいました。「前例踏襲ではなくチャレンジする大人の姿を子どもたちに見せること」という一言が心に残りました。

後半は大工原さんと4人の登壇者による小林のキャリア教育についてのトークセッション。

話題の一つが小林の地域学習「こすもす科」。子どもたちの自立や地域への愛着を念頭に構成された教科です。その価値を最大限に生かすために必要な外部講師の導入や子どもたちの自主的な活動など、指導方法を充実させる具体的な取組についても語り合いました。

主催：「絆を結ぶ物語」実行委員会

高校生寺子屋テナム



夏休み中の3日間(13:30～15:30)、小林高校生約20名が小中学生の学習を手伝いました。高校生たちはマンツーマンで、宿題の解き方を教えたり質問に答えたり…。教えることを通して貴重な学びも得られたようでした。